

# あなたのご意見をお聞かせください！

千曲市にお住まいの皆様へ

**【市民満足度調査】にご協力をお願いします！**

皆様には、日頃より市政運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、【市民満足度調査】は、「千曲市総合計画（平成19年4月策定）」に掲げた32の達成方針について、市民の皆様が「どの項目を重要と考え、どの項目に満足しているのか」をお聴きし、今後の市政運営に反映させるための大変重要な調査です。

調査にあたりましては、千曲市にお住まいの18歳以上の方を対象に2,000人を無作為抽出し、あなたにご協力をお願いすることになりました。封筒の宛名の方が調査対象者ですので、必ずご本人がご記入くださいますようお願い致します。

ただし、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお考えをご記入いただいても結構です。

調査は無記名で、回答内容はすべて統計的に処理するため、あなたご自身にご迷惑をおかけすることは絶対にございませぬので、大変お忙しいところ恐縮ですがご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成23年5月（企第16号）

千曲市長 近藤清一郎

## 【調査票の返送】

ご記入いただきました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、6月3日（金曜日）までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

## 【お問い合わせ】

調査内容などについてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

千曲市役所 総務部 企画課 企画調整係 青木 鎌田  
TEL 026-273-1111（内線 5315） FAX 026-273-8787  
E-mail : kikaku@city.chikuma.nagano.jp

【参考資料】総合計画に掲げた成果指標(目標)の達成状況

達成方針	指標名	目指す方向	現状値A	基準値	目標値B (H23)	達成率 A/B	達成状況 ◎○▲	今後の取り組み方針
1 地域福祉	福祉ボランティアのグループの数	上昇 ↗	149グループ (H21)	93グループ (H18)	98グループ	152.0%	◎	千曲市社会福祉協議会と連携して、地域福祉充実のため、ボランティアの育成地組織化を図ります。
	福祉ボランティアのグループの人数	上昇 ↗	2,800人 (H21)	1,419人 (H18)	1,440人	194.4%	◎	
2 健康づくり	特定健康診査の受診率	上昇 ↗	26.9% (H21)	15% (H18)	60%	57.0%	▲	特定健康診査の周知・受診勧奨により受診率アップを図ります。
	市民が保健指導を受けた割合	上昇 ↗	51.5% (H21)	19.4% (H17)	40%	128.8%	◎	特定健診の受診者が増加することで、保健指導の対象者が増加するため、今後指導体制を整えてまいります。
	生活習慣病(糖尿病等)の有病率	改善 ↘	35.7% (H21)	31.5% (H17)	28%	78.9%	○	生活習慣病の有病率を抑えるために、特定健診受診率を向上させ、保健指導を実施し糖尿病等の発症予防に努めます。
	各種予防接種の受診率	上昇 ↗	62.0% (H21)	60.9% (H17)	65%	95.4%	○	予防接種の必要性を周知し、受診率アップに努めます。
3 保健・医療	医療施設や診療科目の充実について普通以上と感じている市民の割合	維持 →	35.5% (H22)	58.0% (H17)	現状維持	61.2%	▲	地域の主要病院長等による「医療懇談会」を開催しながら地域医療の確保を図りながら、満足度を高めてまいります。
	医療施設の状況	維持 →	53箇所 (H21)	51箇所 (H18)	現状維持	102.0%	◎	圏域での医療ネットワークの確立を図り、今後も地域医療の充実を目指します。
4 高齢者福祉	介護予防事業に参加した人の割合	上昇 ↗	7.6% (H21)	2.7% (H18)	5.0%	152.0%	◎	引き続き高齢者特有の廃用症候群予防等の周知に努めます。
	高齢者が生きがいづくりをする環境整備について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	31.9% (H22)	48.4% (H17)	60.0%	53.2%	▲	身近な地域で気軽に参加・活動できる場や参加機会の充実を図るため、関係団体との連携を深めます。
	地域包括支援センターの設置	上昇 ↗	1箇所 (H21)	1箇所 (H18)	2箇所	50.0%	○	しなのの里ゴールドプラン計画に基づき23年度増設する予定で準備を進めています。
	シルバー人材センターの登録者数	上昇 ↗	1,017人 (H21)	1,000人 (H18)	1,500人	67.8%	▲	シルバー人材センターと連携し、生きがい対策の支援と登録者の増に努めます。
5 障害者福祉	障害者が暮らしやすい環境整備について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	29.5% (H22)	41.5% (H17)	50%	59.0%	▲	障害者に優しい環境整備の充実に努め、満足度の向上を図ります。
	ふれあい広場への参加者数	上昇 ↗	6,250人 (H20)	6,100人 (H18)	6,500人	96.1%	○	H21年度は新型インフルエンザ流行のため、中止しました。
	自立のための実習、訓練への参加者数	上昇 ↗	104人 (H21)	99人 (H18)	130人	88.0%	▲	日中活動の場の充実を図り、就労訓練等の利用を更に推進します。
	障害者の雇用率	上昇 ↗	1.82% (H21)	1.71% (H18)	1.80%	101.1%	◎	関係機関等と連携調整し、雇用の推進を図ります。

達成方針	指標名	目指す方向	現状値A	基準値	目標値B(H23)	達成率A/B	達成状況◎○▲	今後の取り組み方針
6 生活支援	生活保護受給世帯数(件)	改善 ↓	1,876件(H21)	1,512件(H17)	1,450件	77.3%	▲	稼働年齢層の就労支援のため、ハローワーク等関係機関と連携して、自立支援を行います。
7 人権・平和	人権尊重意識が高い市民の割合	上昇 ↗	30.8%(H22)	35.0%(H18)	40%	77.0%	▲	講演会・セミナー等を開催し人権、平和教育の啓発推進を図ります。
	地区人権教育研修会の参加者数	上昇 ↗	3,228人(H21)	3,318人(H18)	3,500人	92.0%	○	研修内容を魅力あるものにし、参加者の確保を図ります。
8 歴史・文化財	歴史的資源の継承について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	55.3%(H22)	56.2%(H17)	75%	74.0%	○	歴史的資源、文化財はそこに住む人びとの歴史であり、誇りでもあるので、その保護、継承に努めます。
	博物館・史跡公園の入館(場)者数	上昇 ↗	125,003人(H21)	113,526人(H17)	87,500人	142.9%	○	何度も訪ねてもらえる施設となるよう、企画展の充実、安全に見学できるように老朽化した施設の修繕を図ります。
	国・県・市指定文化財数	上昇 ↗	118件(H21)	112件(H17)	120件	98.3%	○	引続き、市内にある貴重な文化財の調査を進め、重要なものは市または県・国指定の文化財として保護を図ります。
9 自然との共生	植生や生態系の保全について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	48.7%(H22)	39.8%(H17)	50%	97.4%	○	自然観察会や希少動植物の保全活動を実施し、市民・環境市民会議との連携に努め、満足度の向上を図ります。
	動植物に配慮した河川の整備	上昇 ↗	13箇所(H20)	9箇所(H16)	15箇所	86.0%	○	環境配慮型公共事業を推進するため担当課等と連携を図ります。
	年間の希少な動植物の保護活動回数	上昇 ↗	6回(H20)	2回(H16)	3回	200.0%	◎	レッドデータブックを作成し、希少生物を保全するための仕組みづくりを進めます。
	年間の外来動植物等の駆除回数	上昇 ↗	9回(H20)	6回(H16)	10回	90.0%	○	在来生物に悪影響を与える外来動植物の駆除活動を行います。
10 景観形成	農山村の自然景観の保全について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	43.1%(H22)	69.3%(H17)	75%	57.5%	▲	市民の景観意識が高まり、景観形成に対する取り組みが盛んになるよう啓発・普及に努めます。歴史的なまちなみが良く残る稲荷山地区については、H22年度よりその保存に向け建物調査を行い、その結果を受けて地域住民を交え保存策をまとめます。 【「市民満足度調査」では両方を併記した質問内容としています。】
	歴史的なまちなみや建物の保全について普通以上と感じている市民の割合			54.9%(H17)	70%	61.6%		
	景観形成住民協定締結地区数	上昇 ↗	0地区(H22)	0地区(H17)	2地区	0.0%	▲	千曲市景観計画がH21に策定されたところであり、今後は普及に努め住民協定が締結されるよう、地区説明会開催等の準備を進めます。
11 食文化	農林産物の地産地消について普通以上と感じている市民の割合	維持 ➡	52.2%(H22)	51.6%(H17)	70%			地元農産物直売所のPRを図るとともに「千曲市食ごよみ」を活かした伝統的な郷土料理の普及を進めます。
12 伝統文化	伝統行事の継承について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	46.2%(H22)	59.5%(H17)	60%	77.0%	○	H21年度に武水別神社大頭祭の民俗調査報告書をまとめることが出来たので、今後両宮御神事についても調査を検討します。
	神楽保存会(継承)数	維持 ➡	31団体(H22)	31団体(H17)	31団体	100.0%	○	H22年度において、市文化財調査員により市内の神楽の所在確認調査を実施中、本調査により実態が具体化でき保護の資料とします。

達成方針	指標名	目指す方向	現状値A	基準値	目標値B (H23)	達成率 A/B	達成状況 ◎○▲	今後の取り組み方針
13 公園・緑地	市民一人あたりの都市公園・緑地面積	上昇 ↗	10.36㎡ (H21)	9.93㎡ (H18)	11㎡	94.2%	○	引き続き公園整備を進めるとともに、維持管理については効率的な運営の方策の確立に努めます。
	花いっぱい運動に取り組む自治区・団体数	上昇 ↗	-	33団体 (H18)	38団体			苗木頒布は廃止としましたが、自主的な取り組みに側面から支援を図ります。
14 上下水道	下水道などの汚水処理の整備について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	61.8% (H22)	65.4% (H17)	80.0%	77.3%	▲	公共下水道による整備は、平成21年度末で整備率86.6%となり、平成24年度に完成予定で進めています。
	下水道などの普及率	上昇 ↗	99.1% (H22)	81.8% (H17)	97.0%	102.2%	◎	普及率は100%近くになっており、今後は水洗化率の向上に努めます。
	下水道などの水洗化率	上昇 ↗	79.3% (H22)	58.3% (H17)	75.0%	105.7%	◎	目標は達成しましたが、更に下水道接続のため啓発に努めます。
	河川のBOD(生物化学的酸素要求量)の計測値	改善 ↘	1.8mg/ℓ (H21)	2.4mg/ℓ (H16)	2.2mg/ℓ	122.0%	◎	主要24河川の年2回調査の平均値である。最悪値も昨年の5.5mg/ℓから4.2mg/ℓと改善が見られるが引き続き関係課等と連携し、改善を図ります。
	上水道(県営水道)の普及率	維持 →	90.4% (H21)	89.8% (H17)	91.0%	99.3%	○	補助制度を活用し上水道工事の負担軽減を図ると共に、安全安心な上水道への加入PRを県営水道事業者と引き続き推進します。
15 ごみ処理	一人一日あたりのごみの排出量	改善 ↘	817g (H21)	943g (H17)	871g	106.6%	◎	平成22年度からのごみ処理手数料有料化により、より一層の減量、資源化に取り組めます。
	ごみのリサイクル率	上昇 ↗	24.3% (H21)	23.0% (H17)	26.0%	93.5%	○	依然として、可燃ごみに混入している紙類などの資源物が多いことから、分別を徹底させ資源化の促進を図ります。
16 地球環境保全	年間のCO2の排出量(市)	改善 ↘	538,124t (H16)	538,124t (H16)	509,000t	94.6%	○	平成23年度には調査を実施します。現在は省エネモニターによる家庭でのCO2調査を実施しています。
	環境マネジメントシステムの実施事業所数	上昇 ↗	19事業所 (H20)	9事業所 (H16)	20事業所	95.0%	○	市内企業における環境マネジメントシステムの導入支援や市の環境研修会への参加を呼びかけ、連携を図ります。
	買い物時のマイバッグ持参率	上昇 ↗	42.5% (H21)	15% (H16)	20%	212.5%	◎	4回のマイバック持参率調査を実施した平均値です。千曲川流域の他の自治体にも呼びかけ、今年度末60%を目標としています。
	ごみゼロ運動・千曲川クリーン作戦への参加者数	上昇 ↗	12,153人 (H22)	10,000人 (H17)	15,000人	81.0%	○	実施時期の検討と関係団体への呼びかけを徹底し、参加者の増加に努めます。
17 安全・安心	消防・水防・救急体制の整備について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	52.6% (H22)	62.7% (H17)	70%	75.1%	▲	消防署等関係機関と連携を図り、危機管理意識の高揚や消防・救急体制及び施設等の充実に努めます。
	交通安全対策の充実について普通以上と感じている市民の割合			56.1% (H17)				交通安全及び防犯意識の向上を図るため、関係団体と連携し広報・啓発活動の充実、また、防犯灯の設置など環境整備に進めます。
	防犯対策の充実について普通以上と感じている市民の割合			51.9% (H17)				【「市民満足度調査」では消防・交通安全・防犯を併記した質問内容としています。】

達成方針	指標名	目指す方向	現状値A	基準値	目標値B(H23)	達成率A/B	達成状況◎○▲	今後の取り組み方針
17 安全・安心	歩道などのバリアフリー化の推進について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	29.5% (H22)	35.7%	40%	74.0%	▲	バリアフリー化については、多額の費用がかかるため、地域づくり計画に基づき、計画的に工事を行ない、満足度の向上に努めます。 【「市民満足度調査」では【障害者福祉】の項目に包括されています。】
	自主防災組織の組織化率	上昇 ↗	96.8% (H21)	75.0% (H17)	98%	98.8%	○	残り2団体が未設置ですが、組織化されるよう引き続き関係者と協議を進めます。
	市内での年間交通事故発生件数	改善 ↘	326件 (H21)	364件 (H17)	340件	104.3%	◎	警察や交通安全協会等と連携し、交通ルールの遵守、交通マナーの実践を呼びかけ、交通事故防止の啓発に努めます。
	木造住宅耐震化率	上昇 ↗	73.6% (H22)	55.9% (H18)	70%	105.1%	◎	精密診断後の耐震補強工事実施促進を図ります。
18 情報コミュニケーション	光ファイバーによる高速通信サービス提供エリア	上昇 ↗	100 % (H22)	49.0% (H18)	69%	144.9%	◎	今後は、ADSL対応不能世帯の改善を働きかけてまいります。
	市のホームページへのアクセス件数	上昇 ↗	732,700件 (H21)	170,000件 (H17)	220,000件	333.0%	◎	ホームページ掲載内容の充実を図り、メールマガジンの配信や携帯版ホームページの開設により、情報発信の即時性を向上させます。
	インターネット利用率	上昇 ↗	57.0% (H21)	64.0% (H17)	75%	76.0%	○	アンケート調査の結果、60歳以上の者の回答が多く、利用率が低下しましたが、他の設問から判断すると低下していないと思われれます。
19 子育て	子育て支援センター年間利用者数	上昇 ↗	32,951人 (H21)	16,986人 (H17)	22,000人	150.0%	◎	子育て中の多くの方に参加していただき情報交換や交流を深め、各種事業を開催し、不安感、孤立感をなくす支援につなげていきます。
	ファミリーサポートセンターの年間利用者数	上昇 ↗	695人 (H21)	514人 (H17)	1,000人	70.0%	▲	地域で子育てを支えあう気運の向上、意識の高揚を図っていきます。(利用者数の減少は、新型インフルエンザの流行によるものと考えられます。)
	家庭児童相談の年間件数	維持 ➡	1,760件 (H21)	1,132件 (H19)	1,900件	93.0%	○	家庭における児童養育のため、各機関、団体と連携を密にし、相談指導、支援に取り組みます。
	長時間保育・一時保育・日曜保育の年間利用者数	上昇 ↗	7,414人 (H21)	7,889人 (H17)	8,700人	85.0%	○	女性も男性も安心して働きやすく、仕事と家庭の両立が図れるようサポートし、父母の負担軽減を図るなど環境の整備に努めます。
	児童館・児童センター・(児童クラブ)の年間利用者数	維持 ➡	104,316人 (H21)	129,037人 (H17)	130,000人	80.2%	○	昨年は、千曲市の小中学校での新型インフルエンザの蔓延により、学校閉鎖や学級閉鎖が多かったなか、児童の受け入れを積極的に行い、取り組んだ結果80%となりました。
	小児科医院数	上昇 ↗	6箇所 (H21)	3箇所 (H17)	増加		◎	小児科は増加しておりますが、産科が不足している状況です。引き続き医療体制の確保に努めます。
20 教育	小中学校の教育環境整備や教育内容について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	41.1% (H22)	52.0% (H17)	60%	69.0%	▲	不登校児童生徒の減少や特別支援教育の充実と学力の向上に努めるとともに、施設の改築・耐震化を着実に進め、輝き・たくましい子どもを育て、市民満足度の向上を目指します。
	食材の地場産物使用度	上昇 ↗	54.9% (H22)	25.0% (H18)	30%	183.0%	◎	安心安全な給食提供のため、今後も積極的に地域食材の使用に取り組んでいきます。

達成方針	指標名	目指す方向	現状値A	基準値	目標値B (H23)	達成率 A/B	達成状況 ◎○▲	今後の取り組み方針
21 生涯学習・スポーツ・文化芸術	生涯学習機会の提供や青少年対策について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	46.8% (H22)	54.0% (H17)	60%		▲	「生涯学習基本構想・基本計画」「文化振興基本計画」により施策を進め、満足度の向上を図ります。 【「市民満足度調査」では両方を併記した質問内容としています。】
	文化芸術施設の整備や文化芸術活動について普通以上と感じている市民の割合			68.2% (H17)	75%			
	生涯学習の講座数	上昇 ↗	1,389回 (H21)	1,437回 (H17)	1,500回	92.6%	○	新型インフルエンザの蔓延防止により、中止とした講座が多く、講座数は減となりました。今後は講座の内容を充実させ開催します。
	生涯学習の参加者数	上昇 ↗	28,607人 (H21)	31,248人 (H17)	33,000人	86.7%	○	新型インフルエンザの蔓延防止により、中止とした行事が多く、参加者数は減となりました。事業内容を検討し、市民が参加しやすい事業の開催に努めます。
	スポーツ活動を週に1回以上行っている成人の割合	上昇 ↗	44.0% (H20)	33.7% (H17)	40%	110.0%	◎	調査は毎年行っていないので、前回と同じ数値です。総合型地域スポーツクラブの育成・支援し、「市民皆スポーツ」を推進します。(設立済み1クラブ、設立準備1クラブ)
	市民一人あたりのスポーツ施設利用回数	維持 →	6.0回 (H21)	4.9回 (H17)	6回	100%	◎	市体育協会との連携によるスポーツ教室の開催やニュースポーツの普及を目指した体育指導委員会によるチャレンジスポーツ教室など、身近な学校体育施設を活用しながら進めます。
	文化施設の利用者数	上昇 ↗	179,444人 (H21)	190,824人 (H17)	200,000人	89.7%	○	多くの方に利用されて目標達成までもう一歩です。年度によって変動はありますが、さらに利用しやすい会館を目指します。
22 男女共同参画	男女共同参画社会に向けた取り組みについて普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	34.2% (H22)	44.4% (H17)	55%	62.0%	▲	研修会を開催し、男女共同参画の意識の高揚を図ります。
	市の審議会等における女性の参画率	上昇 ↗	32.5% (H21)	30.6% (H18)	40%	81.0%	▲	各審議会等に対し、改選時には女性の登用を依頼します。
23 国際交流	外国籍市民との交流や国際理解、人材育成について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	20.2% (H22)	34.8% (H17)	45%	44.9%	▲	市内在住外国籍市民を活かしたイベントや講座等の取り組みを行い、国際理解・関係人材育成に努めます。
24 都市基盤	幹線道路の整備率	上昇 ↗	30.2% (H21)	27.0% (H17)	42%	71.9%	○	幹線道路の整備には、多額の費用と時間がかかりますが、早期整備に努めます。
	一日当たりの高速道路インターチェンジの利用台数	上昇 ↗	11,311台 (H21)	10,440台 (H17)	10,800台	104.7%	◎	ETCの普及、休日割引等により、利用台数は増加傾向にあります。今後は、姨捨スマートICアクセス環境の改善を進めます。
	鉄道の利便性について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	32.2% (H22)	50.5% (H17)	60%	53.7%	▲	鉄道と循環バスの連携を更に深めて、利便性の向上を図ります。 【「市民満足度調査」では両方を併記した質問内容としています。】
	循環バスの利便性について普通以上と感じている市民の割合			53.4% (H17)				
	循環バスの年間利用者数	上昇 ↗	145,310人 (H21)	177,885人 (H17)	195,600人	74.3%	○	循環バスを中心とした市内の公共交通機関の連携・高齢者への配慮などにより利用者増を目指します。

達成方針	指標名	目指す方向	現状値A	基準値	目標値B (H23)	達成率 A/B	達成状況 ◎○▲	今後の取り組み方針
25 産業連携	産学官連携に参加する企業数	上昇 ↗	1事業所 (H21)	3事業所 (H18)	6事業所	16.7%	▲	産学の連携が一層深まるよう、企業ニーズ等の把握に努めます。
	各種産業育成制度の活用件数	上昇 ↗	82件 (H21)	73件 (H17)	100件	82.0%	○	アドバイザーによる支援体制を充実し、技術力の向上と販路開拓を推進し、経営の安定化を図ります。
26 産業振興	協働の森づくり事業の参加者数	上昇 ↗	556人 (H22)	100人 (H17)	300人	185.0%	◎	市民の参加者を増やし協働の森づくりの重要性についての理解を深めます。
	遊休農地面積	改善 ↘	262ha (H17)	262ha (H17)	257ha	98.1%	▲	5年に一度行われる農業センサスの数値を用いているため現状地は不明ですが、荒廃農地は増加の傾向にあり、現況調査を進め状況把握に努め、有効的な活用を図ります。
	認定農業者数	維持 →	33人 (H22)	32人 (H18)	37人	89.0%	▲	農業経営者の高齢化に伴い、若手の認定農業者を少しでも増やすため、農業所得の向上を図ります。
	農家一戸当たりの年間農業産出額	維持 →	157万円 (H18)	163万円 (H16)	現状維持	96.3%	▲	国の事業見直しにより、調査が取りやめとなったため現状値は不明ですが、JA等と連携し産出額の現状維持に努めます。
	従業者一人当たりの年間製造品出荷額	上昇 ↗	2,824万円 (H20)	2,440万円 (H17)	2,700万円	105%	◎	商工業振興条例に基づく助成制度のPR強化・利用促進並びに市・県制度資金融資斡旋の迅速な対応に努めます。
	従業者一人当たりの年間商品販売額	上昇 ↗	2,865万円 (H19)	2,463万円 (H15)	現状維持	116%	◎	商工業振興条例(空き店舗・商業活動強化)による支援及び中心市街地再生プランに基づく事業への支援を図ります。
	事業所数	上昇 ↗	3,257事業所 (H18)	3,175事業所 (H16)	3,200事業所	102%	◎	商工業振興条例に基づく助成制度のPR強化、利用促進に努め、また、職業安定所等と連携し、高揚対策の強化を図ります。 「事業所数」「従業者数」は、事業所・企業統計調査に基づく数値でありH18で終了しました。今後はH21から実施している経済センサス(未公表)の数値となるため、前年度と同数値を使用しています。
	従業者数	上昇 ↗	23,853人 (H18)	23,921人 (H16)	24,150人	98.8%	○	
27 観光・交流	交流人口	上昇 ↗	158万人 (H21)	200万人 (H17)	240万人	65.8%	▲	地域固有の様々な素材を掘り起こし、関係団体と協議しながら観光客が訪れたいような新たな体験型観光の構築を目指します。
	戸倉上山田温泉宿泊者数	上昇 ↗	43万人 (H21)	46万人 (H17)	55万人	78.1%	○	温泉資源や既存の施設、周辺の自然・文化・農業資源などを積極的に活用し多様な楽しみの要素を付加し、温泉街全体の再生に向けて取り組めます。
28 移住・定住	「住みやすい」「まあまあ住みやすい」と感じている市民	上昇 ↗	75.0% (H22)	49.4% (H17)	60%	125%	◎	各種施策の充実に努め、住みやすさの向上に努めます。
	「住み続けたい」と感じている市民の割合	上昇 ↗		60% (H17)	70%			

達成方針	指標名	目指す方向	現状値A	基準値	目標値B (H23)	達成率 A/B	達成状況 ◎○▲	今後の取り組み方針
29 住民自治	市民と行政の協働によるまちづくりについて普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	22.4% (H22)	48.5% (H17)	70%	32.0%	▲	市民の目線で考え行動し、情報を共有しながら、協働によるまちづくりを進めます。
	ボランティア活動を実践する環境整備について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗		42.4% (H17)	55%			
	市政に関心を持つ人の割合	上昇 ↗	(32.6%) (H22)	69.3% (H17)	75%			市民満足度調査では「市政に対する関心」に関する設問がなく、現状値が不明なため、市民満足度調査の回収率をカッコ内に示しました。
	NPO法人の総数	上昇 ↗	12法人 (H21)	9法人 (H18)	12法人	100.0%	◎	認可事務の主体である県との連携を強化し、設立支援を行います。
	地域独自の事業、市との協働事業の数	上昇 ↗	152事業 (H21)	104事業 (H18)	200事業	76.0%	▲	地域の各種自主団体活動や地域づくり計画などを通じて、地域主体の事業展開を促します。
	地域コミュニティ組織の数	上昇 ↗	4組織 (H21)	2組織 (H18)	2組織	200.0%	◎	既存団体の事例を紹介しながら、引き続き他地域での団体設立や育成支援を図ります。
30 市民交流	市民交流の促進など新市としての一体感について普通以上と感じている市民の割合	上昇 ↗	18.0% (H22)	33.4% (H17)	50%	36.0%	▲	市民ニーズを的確に捉え、関係団体と連携を深めます。
	都市宣言	上昇 ↗	1種類 (H22)	1種類 (H18)	5種類	20.0%	▲	平成17年度に「平和・安全都市宣言」を制定しました。市民の意識高揚のため、今後も順次制定していきます。
	市民憲章・市花・市木・市歌制定	上昇 ↗	5種類 (H22)	0種類 (H18)	4種類	100.0%	◎	平成21年度に「市民憲章」「市花」「市木」「市歌」を制定しました。
	姉妹都市との交流事業数	上昇 ↗	10事業 (H21)	7事業 (H18)	10事業	100.0%	◎	各部課において、児童を中心とした市民交流が定着しています。今後更に市民の各層における交流を図ります。
31 行政経営	行政運営が効率的と感じている市民の割合	上昇 ↗	18.0% (H22)	27.9% (H17)	50%	36.0%	▲	第3次行政改革大綱に基づき、簡素で効率的な行政経営システムの確立に努めます。
	経常収支比率	改善 ↘	90.5% (H21)	84.5% (H17)	80%	88.4%	▲	経常経費を削減し、弾力的な財政運営に努めます。
	実質公債費比率	改善 ↘	13.1% (H21)	11.8% (H17)	13%	99.2%	○	公債費の将来負担を見通すなかで、起債事業を厳選するとともに交付税補てんのある有利なものに限定します。
	市の職員数	維持 →	477人 (H22)	514人 (H18)	478人	100.0%	◎	第2次定員適正化計画のに基づき、定員の削減に努めていますが、今後も、第3次定員適正化計画を策定し、定員管理を進めていきます。
32 広域行政	行政区域を越えて実施している事務事業数	上昇 ↗	13件 (H20)	12件 (H17)	17件	76.0%	○	長野広域連合を中心に近隣市町村が連携し、効率的かつ効果的に行政課題に対応します。

網掛した指標の「現状値」は平成22年度の「市民満足度調査」の数値(「満足している」「まあ満足している」の合計値)ですが、この指標の「基準値」と「目標値」は平成17年度に実施した「市民意識調査」の数値を参照しています。調査時の選択肢に相違がある(「市民意識調査」では「普通」という選択肢があったが、「市民満足度調査」ではない)ため単純比較できません。